

モンサント企業行動ホットライン

当社のすばらしいビジョン。最も小規模な家内経営の農家から最も大規模な営利企業まで、世界中のいたるところでモンサント製品がもたらす豊かな実りを目の当たりにすることができますでしょう。

私たちは企業倫理に基づく業務遂行を通して当社の誓約を実践することによって、このビジョンを実現に導きます。企業行動規範はモンサントにおける企業倫理の指針です。モンサントの誓約の基本である企業倫理は、私たちの日常業務遂行に反映されます。当社の企業行動規範は、私たちが会社の職務を誠実に遂行できるように導くものです。この規範についての質問や問題提起は、いつでもモンサント企業行動ガイダンス・ホットラインにお電話ください。

モンサント企業行動ガイダンス・ホットラインは、企業行動に関する皆様からの質問や問題提起を受け付ける窓口として設けられています。匿名の電話も受け付けています。

北米以外の国から電話する場合は、まず国際アクセスコードをダイヤルしてください。例えば、日本から電話する場合は、アクセスコードと電話番号は次の通りです。KDD回線から電話をかける場合は00-539-111, 877-781-2431。IDC回線から電話をかける場合は00-665-5111, 877-781-2431。JT回線から電話をかける場合は00-441-1111, 877-781-2431です。

モンサント企業行動ガイダンス・ホットラインでは、まず専門のトレーニングを受けたコミュニケーション・スペシャリストが電話に対応し、あなたの質問や問題提起の本質の把握に努めます。スペシャリストはこの質問を指定の形式の報告書にまとめてモンサント企業行動管理室へ送付し、そこであなたの質問が審査され適切な措置または対応を決定します。

電話対応の終わりには整理番号とコールバックの日付が通知され、この日以降に電話をかけて自分の質問や提起がどのように処理されたかを確認することができます。他にあなたからの補足情報が必要な場合は、電話をかけなおしたときにそのことについて質問があります。

ただし、

モンサント企業行動ガイダンス・ホットラインは、あなたとあなたの上司との間で有効なコミュニケーションをとるための代用手段ではありません。日常業務の手続きに関する質問や問題提起、職場環境の改善・効率化についての提案は上司に直接相談してください。

モンサント社の誓約

私たちは倫理性をすべての行動の基盤においています。倫理性には誠実さ、実直さ、一貫性、および勇気が含まれます。これらの価値を基に、私たちは次のことを誓約します。

対話：

私たちは問題に対する理解を広げるためにさまざまな意見に耳を傾け対話することにより、社会や人々が必要とするものや疑問を持っている事柄に対して適切に対処するよう努めます。

尊重：

私たちは世界中の人々の宗教的、文化的、倫理的な懸念に対して敬意を払います。従業員や事業展開の基盤となる地域社会、顧客、消費者、環境の安全確保を最優先課題とします。

透明性：

私たちは情報の提供を保証し、それが入手しやすく、理解しやすいものであるように心がけます。

共有：

私たちは科学の発展や理解の促進、農業と環境の向上、作物の改良、発展途上国の小規模生産者を支援するために知識と技術を共有します。

貢献：

私たちは革新的な科学技術、その効果的な利用、そしてあらゆる面で安全と健康に配慮することを通じて、顧客と環境に利益をもたらす高品質の製品を提供します。

会社の内部に向けて、私たちは次のことを誓います。

目標を達成するために主体的に行動します。

私たちは、明確な方向性、役割、および責任分野を策定し、顧客やその他のパートナーと強い関係を築き、また賢明な決断をし、会社の資源を有効に活用し、結果に対して責任を持ちます。

優れた職場をつくります。

私たちは人種の違いや考え方の違いを当然のことと考え、その存在を保証します。また革新的で創造的な考え方や学習意欲を育て、全体的なチームワークを高めていきます。そして報酬や褒賞で社員の努力や成果に報います。

企業行動に関するお問い合わせ

企業行動に関する質問、支援の要望等については、下記の各窓口へご連絡ください。

モンサント・ガイダンス・ ホットライン	877-781-2431
企業行動管理室の電話番号	800-886-0782
電子メール	business.conduct@monsanto.com
郵便物送付先	Monsanto Business Conduct Program P.O. Box 21526 St. Louis, MO 63132, USA

質問や疑問を企業行動管理室へ報告する場合、匿名で行うことが可能ですが、より安全に機密性を保護するために、ガイダンス・ホットラインか私書箱(P.O. Box)を利用することをお勧めします。名前を明記して報告された場合でも、その名前は原則として公表されません。

拝啓

モンサント社員各位

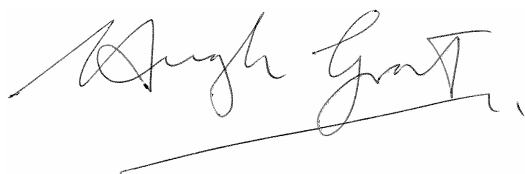
私たちのすべての企業活動において倫理性を最重視することは当社の企業行動の中核をなすものです。私たちはこの信条をないがしろにすることなく、毎日再確認しなければなりません。私たちはすべての行動をこの企業倫理に基づいて取ることにより、当社の株主全員から信頼を獲得・維持します。

私たちはこの信頼を維持・拡大するために毎日努力しなければなりません。この信頼を持ってこそ、私たちは豊富な食物と健全な環境という当社のビジョンを達成することができます。反対にこの信頼なくしては、当社の自主的な事業遂行において多くの対応困難な障壁に直面することになるでしょう。

そのための名声を得るにはただ法律を遵守するだけでなく、特定の法律や規制の対象とならない状況に直面したときにでも正しい行動をとることが必要です。ときには正しい道が不明瞭な場合もあるでしょう。しかし、職務上のどのような状況においても正しい答えを追求し、これを見つけ出すことが私たちモンサント社員の責務です。私たちが最良の判断と行動を取れるように、この規範には適切な企業行動の指針が示されています。当社の規範は、私たちが当社の信頼と名声に影響を与える複雑な商習慣の範囲において責任を持って対応できるように手助けします。

私たち一人一人が自分自身のすべての行動をとおして当社の規範を実践することが期待されます。

敬具



ヒュー・グラント

モンサント・カンパニー取締役会長 兼 最高経営責任者

目次

本規範の適用範囲/企業行動管理室	1
企業倫理	2
当社の信条	3
社員相互の尊重	3
職場環境 健康と安全への配慮	
公正取引	4
独占禁止法、その他の競争関連法令 競合会社の機密情報 賄賂やリベート 贈答と接待 マーケティングにおける企業倫理 政治献金とロビー活動 インサイダー取引 利害の衝突 ビジネスチャンス 購買先や顧客との関係	
信頼できる製品	6
科学研究 製品の品質 規制の遵守 プロダクト・スチュワードシップ	
地域社会との共存共栄	8
環境保護 社員の政治活動	
情報公開と会社資産の適正使用	8
情報公開の正確さ 正確な記録の維持 記録管理 知的財産権および機密情報 会社資産 コンピュータ、電子メール、インターネット 個人情報の保護 欧州連合(EU)の個人情報保護	
グローバルな事業環境	11
腐敗行為撲滅への努力 ボイコット禁止法 貿易・経済制裁 輸出入 適正な通貨取引	
一般的な質問と回答	12
むすびの言葉	13

本規範の適用範囲

当社の経営陣および取締役会により採択されたこの企業行動規範(「規範」)は、私たち全員の基本的義務を規定・説明します。まず第一に、モンサント社では適用法規の遵守を会社方針としています。この規範は、頻繁に生じる企業行動問題について法律に関する情報を提供する指針および資料です。本規範はすべての状況に対応するものではなく、またモンサント社に適用されるすべての法規を概説するものでもありません。社員各位は常識と最善の判断力を行使して企業行動問題に対処し、それでもなお最良の行動が不明のときはアドバイスを求めることが期待されています。

本規範は世界中にあるモンサント社の各種事業および子会社に適用されるとともに、モンサントの全役員・取締役およびフルタイムまたはパートタイムの全社員に適用されます。さらに本規範はモンサントの傘下にあるすべての関連会社にも適用されます。また、コンサルタント、代理業者(agents)、販売代理人、流通業者、独立請負業者など、モンサント社を代表する立場にあるすべての事業体も、本規範の適用箇所をすべて遵守することを書面で合意することが要求されます。これらの事業体はモンサント社員に適用される同じ規定により拘束されます。

企業行動管理室

モンサント社における企業行動プログラムの実施および管理のために企業行動管理室が設置されました。この管理室の役割は、規範および企業倫理問題に関する指導および助言を提供することです。

以下の各種経路を通じて、この企業行動管理室を有効に活用してください。

モンサント・ガイダンス・ホットライン：	877•781•2431
企業行動管理室の電話番号：	800•886•0782
電子メール：	business.conduct @ monsanto.com
郵便物送付先：	Monsanto Business Conduct Program P.O. Box 21526 St. Louis, MO 63132, USA
ウェブベースの企業行動フィードバック用紙：	企業行動プログラムのホームページ

質問や疑問を企業行動管理室へ報告する場合、匿名で行うことが可能ですが、より安全に機密性を保護するために、ガイダンス・ホットラインか私書箱(P.O. Box)を利用することをお勧めします。名前を明記して報告された場合でも、その名前は原則として公表されません。

また、上記を利用しなくとも、問題の提起や質問があれば、いつでも自分の上司またはモンサント法務部に連絡することもできます。

企業倫理

企業倫理はモンサント社のビジネスの礎石であり、私たちはこの企業倫理をもってすべての業務を遂行します。企業倫理に基づくビジネスは人々からの信頼を得ることができ、これによって当社が営業活動を行う地域社会や、当社の顧客、株主、および私たち相互間の強力で長続きする関係を築きます。企業倫理は、モンサント社の誓約の要素を実践することも含めて、すべての側面で私たちの行動を導く道しるべとなるものです。この誓約には、企業倫理の具体的な指標となるモンサント社の倫理価値が含まれます。

誠実	私たちは包み隠しのない率直な取引を行い、明瞭かつ正確なコミュニケーションをはかり、また当社がサービスを提供する相手の信頼を獲得し、維持します。
実直	人々を平等にかつ尊厳をもって扱い、たとえ反対意見でも他人のアイデアをよく聞き、問題解決のために謙虚さをもって協力します。
一貫性	顧客、株主・投資家、地域社会およびお互いに対するコミットメントを実践し、私たちの行動に対する責任を持ち、常にトップを目指します。
勇気	たとえ周囲の反対にあっても、当社の価値を明確に説明し、実践する勇気を持ちます。悪いことをするほうがやさしい場合でも、正しいことを行います。

時には、合法的な行動でも、その行動を取ることにより当社の価値あるいはモンサント社の誓約の一部に矛盾するかもしれないという場合があります。そのような懸念がある場合は、以下の判断基準を指針としてください。

問題解決のために取るべき手順

1. 事実を把握し、ジレンマを明確にし、できる限り根本的な問題を見極める。
2. 自分の決定によって影響を受ける人たちの利害をできるだけ理解するように努めながら、競合する利害関係にも注意を払う。
3. モンサント社の誓約に立ち戻って、状況と行動を判断する。
4. あなたが直面しているジレンマが当社の誓約に反するように思える場合、当社の価値に照し合わせて、その価値を考慮した上で、あなたの最善の判断による最良の選択としての決定を下す。
5. それでもなお最善の行動が不明な場合は、アドバイスを求める。

つまり、本規範は、適用法遵守のための参考資料であるのみならず、私たちが理想とするモンサント社のありかたを反映するような行動を私たち自身が取るようにするための資料でもあります。

職務上の倫理性の要約

- 事業や取引がどこで行われても、当社の企業行動を統制するすべての法律、規制、規則、方針を遵守する。
- 当社のすべての取引が正直かつ正確に行われることを徹底する。
- それが現実であるかそう感じられるだけかにかかわらず、利害の衝突を避ける。

企業倫理 (つづき)

- 個人の利益のためにモンサント社の資産や情報、関係(コネ)を利用しない。
- 企業行動上の問題や疑問を正当に告発した社員に対して一切の報復措置を取らない。
- すべての社員は平等な扱いを受け、均等な機会といやがらせのない職場環境を与えられる権利があることを尊重する。
- すべてのビジネス取引を誠実かつ公正に行う。

当社の信条

企業倫理に基づいて生きるということは、信条を持ち、それを守ることです。本規範では、当社ビジネスを6つの側面から分類し、その一つ一つについて私たちの信条(コミットメント)を説明します。

社員相互の尊重

まず、社員同士、すなわち同僚に対する責任からスタートします。私たちのお互いに対する扱いは、私たちが仕事上の取引相手である他人を私たちがどのように扱うかの見本や基本となるからです。

職場環境

モンサント社の成功はその社員およびチームにかかっています。私たちはこの事実を決して忘れてはなりません。

モンサント社は差別やいやがらせ(ハラスメント)のない多様性のある職場環境づくりに専念しています。従って、当社ではすべての社員および求職者に対して平等な雇用機会を提供しています。すなわち当社は、人種、肌の色、宗教、性別、年齢、出身国、性的指向、軍隊勤務の有無、障害の有無、その他、雇用関係法律に規定されるステータスに関係なく、雇用・採用、昇進を行い、報酬等の雇用条件を提供します。当社は障害を持つ人たちが働けるように適切な環境の提供に誠実に努力します。

当社は性的、人種的、宗教的なものを含む、上記の特徴に基づく差別行為またはハラスメントを容認しません。悪意に満ちた環境を奨励したり、それをつくりだしたりする言動は容認されません。職場環境に関する質問や懸念がある社員は、前述の報告経路を利用するか、または随時人事部に連絡することができます。

健康と安全への配慮

公的な規制による基準に加えて、モンサント社では健康と安全の基本要件を設定し、世界的に統一的な安全衛生上の基準を提供しています。これらの要件は、モンサント環境安全衛生(ESH)マニュアルの方針内でも支持されるように、モンサント社の誓約に示される目標を達成するために必要な基準を設定しています。私たち一人一人が安全に対してそれぞれ個人的な責任を担っていることを忘れてはなりません。

社員全員の協力を得てこそ、モンサント社の健全な職場環境が実現できるのです。その協力の一部として、社員は違法薬物やアルコールの影響のない状態で勤務することが期待されています。職場における違法薬物の使用や合法的に処方された薬物の乱用は厳重に禁止されます。

公正取引

モンサント社ではビジネス取引における正直で誠実、かつ倫理にかなった行動を公約として掲げています。当社は合法的かつ倫理的な市場競争に努めます。

独占禁止法、その他の競争関連法律

独占禁止法とは公正な自由競争を促進するための法律に使われる一般的用語です。これらの法律は、米国や欧州連合をはじめとし、モンサント社が事業をしている多くの国々で施行され、価格操作、購買先・顧客のボイコットや割当てなどの反競争的合意や行為を規制するものです。また、独占禁止法は、提携契約、共同事業(JV)、吸収・合併、その他のビジネス協力取決めなどの企業結合にも適用されます。当社は適用されるすべての独占禁止法を遵守するのみならず、これに違反する合意や解釈の可能性をも避けるよう最善を尽くします。

競合会社の機密情報

私たちは公正かつ誠実な方法で競合上の優位性を獲得できるように努めます。非道徳的あるいは違法な商行為によらず、優れたサービスや製品を提供することにより、競争に勝つ努力をします。機密情報や企業秘密を盗んだり、所有者の同意なしに取得した同情報を所持したり、他社の元社員あるいは現社員に同情報を開示させることは、固く禁止されます。モンサント社員または代理業者(agents)は、競合会社の機密情報を入手するために、対人操作や秘匿・隠蔽、部外秘情報の乱用、重大な事実の偽りの陳述、新入社員に対する不適切な質問や配置、その他意図的に不公平な取り扱い行為をしてはなりません。

賄賂やリベート

賄賂やリベートは違法であり、禁止されます。賄賂やリベートは、当社ビジネスの発展に必要な健全な環境の育成に欠かせない信頼を大きく損ないます。相手の行動に影響を及ぼすためあるいは相手を妥協させるためにモンサントの資金または資産を支払ったり、貸したり、支出してはなりません。社員は賄賂やリベートを要求したり受取ったりしてはなりません。

国際的な贈収賄については、本規範中の「腐敗行為撲滅のための努力」の項を参照してください。許可される贈答や接待については、次の項目を参照してください。

贈答と接待

モンサント社では、贈答や接待により不当または不公正な優遇を求めないことを公正競争の誓約の一部としています。また当社が取引において他の会社を不当または不公正に優遇することはありません。

小額の価値の贈答、食事や接待を提供したり、交換することはビジネス関係における親善と信頼を築くために許可されることがあります。モンサント社では、そのような贈答や接待の授受は、それが合法的であり、頻繁に行われず、高額でなく、またそれが賄賂や利益供与と見なされることなく、かつ良識のある正しい判断によるものである場合には、許可されます。米国の州および地方政府の職員にもこの規定が適用されます。

社員は、モンサントがビジネスの相手に不正な影響を与えようとしていると感じられる(見られる)ような贈答を提供または申し出てはなりません。また同様に、贈答によりモンサント社またはその社員の行動が左右されるという印象を与えるような贈答を受け取ってはなりません。モンサント社の購買先との関係においてはとくにこの点に注意してください。

公正取引 (つづき)

米国以外の政府職員に対する贈答については、本規範中の「腐敗行為撲滅への努力」の項を参照してください。

マーケティングにおける企業倫理

モンサント社では優れた価値のある製品とサービスを提供することを基礎としてビジネス競争に挑みます。私たちはモンサントがすばらしい名声を得られるように、それに矛盾しないマーケティング努力をします。誤解を招くような表現や偽りの記述を販促材料に載せないよう努力します。

当社を信頼している当社の顧客等は、そのような不正確な表現や記述により、自らが食する食べ物や使用するモンサント製品について誤解を抱くことにもなりかねません。私たちはそのような事態を回避するために最善の努力をします。モンサントの販促材料は健全な科学的データに基づく正確で真実の情報でなければならず、また競合会社の製品に対する虚偽の表明もしてはなりません。

政治献金とロビー活動

モンサント社では当社の意見を広く理解してもらうための一手段として、政治活動に関与することがあります。当社では企業の政治活動を規制する適用法令の完全な遵守を基本方針としています。

モンサント社は米国内で、すべての適用法規を遵守して、政党・政治組織・候補者を特定しない任意の政治活動基金を設けることがあります。社員はそれに献金することができます。社員がその基金へ献金するかどうかは一切任意です。社員がこれに加入しているかどうかにより、その社員の雇用、昇進、報酬に影響することはありません。

モンサント社は米国内で、州または地方の政党、政治委員会、あるいは公職選挙候補者に対する企業としての選挙活動資金を献金することがありますが、これはその献金が合法的な場合に限り、しかも合法的な範囲内で行うものとします。モンサント社では、適切なモンサント幹部役員の事前許可がない限り、米国外での政党への献金はしないことを方針としています。

世界中で政治的ロビー活動は厳しく制限されています。モンサント社のロビー活動はすべての適用法令を遵守したものでなければなりません。

インサイダー取引

自由で公正な証券取引のため、および適用証券法の遵守のために、モンサント社員は全員、インサイダー取引を禁止されます。インサイダー取引を起こす多くのケースは、私たちがモンサント社をとおして得た「内部情報」を基にモンサント社のみならず他の会社の証券を売買してしまう場合です。

(重要な秘密情報である)内部情報を基に株の売買を行うこと、および内部情報に基づく助言を家族や友人、その他の人物に提供することは違法であり、また倫理に違反しています。モンサント社に関する非公開情報はすべて機密情報と見なされるべきであり、それを株式売買など個人の利益のために使用してはなりません。この規定は上級管理職のみならず全社員に適用されるので注意してください。

公正取引 (つづき)

利害の衝突

私たちが自分の個人的、社交的、経済的、または政治的な利益を会社の利益よりも優先させようとする、そこに、利害の衝突が生じます。利害の衝突は、法律上の問題となるばかりでなく、対外的にモンサント社が不公正なやり方でビジネスを行い、当社が採用している高い経営倫理基準を守っていないように映ることがあるため、これは避けなければなりません。潜在的な利害の衝突は、すべてが問題になるとは限りませんが、時宜を逸さずに指導・是正できるように、絶え間なく報告され続ける必要があります。

潜在的な利害の衝突の例：

- モンサントに雇用されているか、モンサント側の立場からサービスを提供している一方で、その職務が何であれ、同時に競合会社または顧客・購買先のためにも働くこと。
- 競合会社、顧客、または購買先から著しく高価な贈答を受けとること。
- 資産、サービス、その他の利権の売買においてモンサントと競合すること。
- (株式公開企業への通常の投資を除き)モンサント、またはその顧客や購買先にかかわる取引に対する利害関係を持つこと。
- モンサントにおける自分の地位を利用して融資を受けたり、債務保証を受けること。

利害の衝突と思われやすいことも回避するよう努め、その可能性がある状況に直面した場合は、必ずそれを直ちに報告してください。潜在的な利害関係がある場合は、必要に応じて企業行動管理室または法務部へ報告してください。

ビジネスチャンス

モンサント社の職務を通して個人的なビジネスチャンスを発見することがあるかもしれません。このような「ビジネスチャンス」は、モンサント社が関心を持つ既存のあるいは潜在的な事業活動に、私たち自身、親類縁者、または私たちが個人的に親交をもつ人物が参加しようとした時に、ある種の潜在的な利害関係を発生させる場合があります。私たちはこのような潜在的な利害関係を回避するために最善の努力をしなければなりません。このような利害関係に直面した場合は、企業行動管理室へ連絡してください。

購買先や顧客との関係

下請業者や購買先は、できる限り厳しく客観的な根拠に基づいて選定しなければなりません。その基準には、品質、優れた技術、価格、納入日/スケジュール、適格な供給源からの保守管理サービス、必要十分な安全管理記録などがあります。同様に、モンサント社を代表する者として、あなたは当社の顧客および/またはパートナーとなる可能性がある政府、企業、その他の組織団体とのすべての取引や関係において細部にわたり正直でなければなりません。顧客やパートナーとの契約は、裏取引や暗黙の合意のない、すべて公正な協議を経て締結され、すべて文書に記録されなければなりません。

信頼できる製品

モンサント行動規範は製品の信頼性にも適用されます。信頼できる製品づくりを通じて、私たちは当社の製品および技術がすべての適用法令、規則および許認可基準を確実に満たし、さらにそれらを超えることができるように努力します。また、安全で環境に配慮した製品をつくり出すために努力し、適切でかつ責任のある製品の使用を求めて最善をつくし、顧客や消費者の品質に対する期待を満たすかそれ以上となるよう努めます。信頼できる製品についての詳細は、この後の科学研究、製品品質、規制遵守、およびプロダクト・スチュワードシップ(製品の管理についての社会的責任)の各項を参照してください。

信頼できる製品 (つづき)

科学研究

モンサント社では倫理的な科学研究の重要性を理解しています。各種の団体や集団から信頼を取り付けることが当社事業の成功の大きな鍵であり、その信頼は当社が提供する科学データの正確さおよび信頼性にかかっています。

製品研究が倫理的なものであるためには、その研究が次のように遂行されなければなりません。

- 許可された手順に従い、適正な管理下で実施する。
- 適宜、ピア・レビュー(相互評価)または信頼性保証部(QA)の管理下で実施する。
- 正確に記録され、複製可能または再構成可能で、適切に文書化(記録)された記録を持っている。
- 適切な統計分析またはデータ分析が行われている。

製品の品質

モンサント社は最高品質の製品を一貫して提供することに懸命に取り組んでいます。これは改良を重ね続けているプロセスを含む標準化プロセスを通して達成できます。品質重視は当社の基本的価値観のひとつであり、当社と顧客を結びつける全社にわたる共通の要素です。良質の製品は社員一人一人の毎日の努力により実現できます。有効な品質管理により性能と経済性の両面における最高の成果が達成できるのです。当社の大目標は、当業界において製品品質管理における最善の実施例を率先的に開発し、それを共有することであり、当社はすべての法令の規定および契約条件を満足する製品を提供します。また、当社のパートナーおよびライセンサーが最高の品質の製品や売買契約を生み出すことができるようにするための道具を提供する責任を負っています。

規制の遵守

モンサント社の世界各国での事業は厳しい規制環境の下で行われており、ほとんどの場合製品の発売または顧客による使用に先立って規制当局による許認可を取得しなければなりません。このためモンサント社では、適用されるすべての国際的、地域的、および国家的な規制や許認可プロセス・条件の遵守を当社の目標としています。こうすることで当社の製品を販売することができ、また当社の顧客もその製品を販売することができるようになるのです。さらに、すべての規制される安全・遵守基準に合格するかそれを上回ることにより、モンサント社は製品の安全性を確保し、規制当局の厳しい審査に合格したことを顧客・栽培者・消費者に理解してもらうように努めます。

プロダクト・スチュワードシップ

プロダクト・スチュワードシップ、すなわち当社の製品や技術の安全性および環境への影響を評価することにより、これを評価・支援することはモンサント社の義務です。さらに、この義務には、特に地域社会の基準や原則に関して、製品や技術の適正で責任を持った使用方法を説明し、促進する義務も含まれます。

モンサント社ではプロダクト・スチュワードシップを重視し、衛生環境スチュワードシップ委員会並びにそのスチュワードシップ専用の各種ワークグループを設置しています。この委員会はモンサント社が自社の監督および報告の義務を達成するための最高責任を負います。

地域社会との共存共栄

モンサント社は営業活動圏にある地域社会に対して当社が与える影響を理解し、それら地域社会の向上のために前向きな貢献をしたいと望んでいます。地域社会においてビジネス活動を許可されるということは名誉なことであり、私たちに与えられるこの特権に恥じないよう、毎日最善の努力をします。

環境保護

当社は環境保護、および当社社員、請負業者、訪問者および近隣住民の健康と安全を第一としています。この一環として、事業圏における環境、衛生、および安全に関する法令および規制の遵守のために最大の努力をします。国全体のものか地方のものかにかかわらず、それらの法令および規制は、当社の施設および行動に対する最低基準を設定するものです。

環境に影響する活動に少しでもかかわる職務責任を持つ社員は、適用法令およびモンサント環境安全衛生(ESH)マニュアルに概説されるモンサントの環境保護方針を厳守してください。これに違反することは、重大な法律上の問題をもたらすのみならず、私たちが営業活動を行う地域社会やその環境に悪影響を与えることとなります。

社員の政治活動

モンサント社では社員が市民活動や政治プロセスに参加することを奨励しています。これは私たちが良き市民としての責任・義務を遂行し、私たちの地域社会に有意義に貢献する手段として重要だからです。ただし、自分自身のための政治活動は、会社を代表してするのではなく、個人的かつプライベートな立場で行われなければなりません。公職に立候補する場合、会社の資産や装置をその目的に使用してはなりません。政治活動は自分のプライベートな時間内に行われなければなりません。

情報公開と会社資産の適正使用

当社の株主は私たちが会社の金融資産などの各種資産を責任を持って使用するものと信頼しています。会社資産はその意図される目的、すなわち当社の事業発展のために使用されるものです。

情報公開の正確さ

モンサント社は自社の経営状況や業績について経営者側から見た実態を示すために効果的かつ誠実なコミュニケーションをはかる責任を株主や社会に対して負っています。モンサント社では、証券取引委員会に定期的に提出する各種報告書やその他の情報を企業経営全般にわたる公正で理解しやすい正確な情報公開を適時適切に行うことを義務としています。

正確な記録の維持

企業情報を公正かつ正確に記録・報告することは非常に重要です。当社は事業に関する正確な情報を提供し、その信頼できる情報に基づき経営判断を行う責任を株主や投資家に対して負っており、また法令によりその義務を課せられています。ビジネス取引はそれを行う権限を有する社員によってのみ遂行されます。正確な財務記録やその他の記録が作成され、資産と負債に対する責任が明確に反映されるためには、ビジネス取引は迅速かつ正確に記録されなければなりません。記録されない資金や裏金は一切これを設けたり維持してはなりません。記録の偽造や改ざんは決して許されません。意図的に取引の真意を隠したり偽るような記録や報告をしてはなりません。

情報公開と会社資産の適正使用 (つづき)

監督責務を負うモンサント社員は、その責任範囲において有効な事務会計管理システムを制定し維持する責任があります。

記録管理

私たち個人が自分の財産を管理し、家計を維持していくように、当社の事業も記録管理に依存して機能しています。一般論として、会社は自社の資産を証明したり、自社行為の正当性を証明するために記録が必要になります。

当社は会計、税務、環境衛生および安全に関する記録を特定の期間にわたり保管することが法令により義務付けられています。また、訴訟や特許係争において自社の弁護のためあるいは自社の主張を証明するために、法律に義務付けられる期間よりも長い期間にわたり記録を保存しておく必要もしばしばあります。

適切な記録が手元にあり、適用法規の遵守を確実にするため、社員全員が記録管理マニュアルおよび課税・法務に関するあらゆる記録保持規定を遵守します。

知的財産権および機密情報

モンサント社員の勤勉な努力は、多くの場合、知的財産権などの機密情報として記録・維持されています。当社の事業において取得された社外秘の機密情報は価値のある会社資産です。当社の発展と競争力維持のためにこれらの情報を保護することは非常に大切です。機密情報はモンサント社が許可する場合または法律により義務付けられる場合を除いてこれを開示せず、その秘密を厳重に保守しなければなりません。

機密情報とは、競合会社や投資家にとって利用価値があり、それが開示されるとモンサント社やその顧客にとって不利になるようなあらゆる非公開情報を意味し、その中には経営、研究開発、マーケティング、販売、新製品に関する企画、目的や戦略、記録、データベース、給与報酬データ、社員の医療情報、顧客・社員・購買先のリスト、その他の未公開の財務または価格情報、さらに知的財産権が含まれます。アイデア、著作物、ブランド、コンピュータ・プログラム、製法・調合、工業プロセス、発明などの知的活動の成果に対する権利を知的財産権と総称します。また、デザインや図面、計算、コンピュータのデータベースやソフトウェアなどの社外秘の業務情報も含まれることがあります。特許、商標、著作権、企業秘密は、特定分野の知的所有権を保護するために設けられていますが、これらはしばしば併用され最大の保護を提供します。

どれが知的財産や機密情報に該当するかを見極めることは困難な場合も多いので、モンサント社を代表する適切な人物がこれを機密情報ではないと表示しない限り、すべての情報や資料は必ず秘密書類として扱います。機密情報を無断で使用したり配布することは会社規定に違反し、懲戒処分の対象となるだけでなく、違法行為となり、民事または刑事上の処罰を受けることもあります。私たち一人一人はモンサント社から委託されてすべての秘密情報および知的財産を使用しており、これらを厳重に保護する義務があります。この義務には他人の知的財産を適切に保護することも含まれます。社員は、機密情報にすべてその旨を明記し、それを安全な場所に保管し、職務上それを必要とする社員のみアクセスを制限することにより機密情報を保護する責任があります。

モンサント社の機密企業情報を保護するという社員の義務は、社員がモンサント社を去ってもそこで終わるものではなく、その後も継続します。当社を退職する社員は自分が所有しているすべての機密情報を会社に返却しなければなりません。

情報公開と会社資産の適正使用 (つづき)

会社資産

会社の資産は会社のビジネスを遂行するために使用するものです。会社資産は健全な判断に基づき、責任を持って使用しなければなりません。社員は会社資産を損失、盗難、乱用、および浪費から保護する責任があります。盗難、不注意、浪費は当社の収益性に直接影響するため、会社資産の盗難、不正使用、非効率な使用が疑われる場合は、管理職、または保安部、あるいは企業行動管理室に報告してください。会社資産の個人的使用については、それが合法的で、短期間に限定され、頻度が低く、また会社のリソース全体から見てごく些細な部分を使用するのであれば、場合によって許可されることもあります。社員が販売または賃貸する私物のリストを作成するときは、この目的のために認められている会社のリソースを使用してください。具体的な指針は次の通りです。

コンピュータ、電子メール、インターネット

(当社が社員に提供するコンピュータを含む)モンサントのコンピュータシステムは会社資産であり、すべてのモンサント社資産と同様に、コンピュータシステムもモンサント社の事業遂行のために提供されています。

社員は一人一人、当社のコンピュータシステムを適切に、かつ適用法令および会社の方針に従って使用する責任があります(電子メールやインターネットの使用もこれに該当します)。当社のコンピュータシステムを通して送受信、作成、保存されたすべてのコミュニケーション内容および情報(ディスク、CD、その他の記録媒体も含む)は、モンサントの記録および財産となります。当社は、理由のいかんにかかわらず、社員の許可なしにコンピュータシステムをすべての側面において監視する権利を持っています。ただし、これは当社の義務ではありません。

コンピュータシステムは最小限であれば個人的な利用が許可されますが、違法なメッセージやファイルの送受信に使用することは禁止されます。また、性的・人種差別的、侮辱的、露骨、下品、あるいは不快な言葉づかいを含む情報や資料を送受信することも禁止されます。さらに、モンサント社の許可を得た場合を例外として、宗教や政治的目的、あるいは当社以外の企業、その他の組織、またはモンサント社における社員の活動と無関係の活動などを代表して勧誘するためにコンピュータシステムを使用することも禁止されます。

個人情報の保護

私たちは当社の事業活動をとおして、時には個人の医療記録やその他の個人情報を目にする機会があります。この情報はその適切な使用と保管を前提として私たちに委託されるものです。私たちは自分が所持するすべての医療情報および個人情報の秘密を守り、その情報が適切に使用・アクセスされるよう徹底します。また、事業活動を通して、顧客、消費者、その他の人たちの家計情報などの秘密な個人情報を知ることもあります。モンサント社ではこれらの情報を適切に保護し、使用する義務があります。

欧州連合(EU)の個人情報保護

欧州連合(EU)のデータ保護指令(「EU指令」と略称)では、EU市民の個人情報の転送は個人情報を「適正に」保護している非EU諸国に対してのみ許可されます。EU諸国に所在するモンサント関連会社および部署はこのEU指令を遵守します。EU外では、モンサント社は米国モンサントに送信されたか、そこでアクセスされたEUの個人情報を保護するために、米国商務省が規定する「原則」に従います。

グローバルな事業環境

モンサント社は多くの側面においてグローバルな職場のリーダーであることを誇りとしています。世界中の多くの国において当社の製品およびサービスを提供し、発展途上国の人々の生活水準を向上し、大人から子供までその健康と福祉の改善に貢献するという類まれな機会を持つという名誉を与えられています。世界中で事業を展開できるというこの名誉には、当然ながらグローバル・ビジネスを統制するための法律ならびに、その法律を制定・執行する世界中の政府官僚を尊重する義務が伴います。ここではこれらの法律のいくつかを説明します。

腐敗行為撲滅への努力

モンサント社員は職務遂行において時には政府官僚と接触することがありますが、この接触は公明正大で隠し立てのないものでなければなりません。

モンサント社員および代理業者は、海外腐敗行為防止法(FCPA)という米国法により、米国以外の政府官僚に対してその官僚の行動や決定に影響を与えることを目的に金銭または金銭的価値のあるものを直接または間接的に提供したり、支払う約束をするか支払いを許可することを禁止されます。60カ国以上の国々では、自国の市民による外国政府の官僚への賄賂を禁止する、FPCA同様の法令を制定しています。モンサント社員および代理業者はFCPAおよび同様な贈収賄禁止法を遵守します。

緊急の場合は例外として、事前に顧問弁護士の承認を得ることなく便宜を図るために金銭の支払いをしてはなりません。

また、ほとんどの国には、自社との取引の獲得または維持のために公務上の行為や決定に影響を及ぼすことを目的として自国政府の職員または官僚に対して金銭や金銭的価値のあるものを(直接または間接的に)支払い、それを提供し、またはそれを約束することを禁止する法律があります。

このため、政府官僚へ金銭、贈物、サービス、その他の金銭的価値のあるものを提供・授与することは、その金銭、贈答、サービスなどの提供がモンサント社との取引につながるように政府官僚の行動に影響する場、あるいはそのように見える場合、世界中どこにおいても禁止されます。

ボイコット禁止法

米国には、企業による認可されないボイコットへの協調を禁止するためにボイコット禁止法があります。例えば、この米国法では特定の国々によるイスラエルのボイコットは認可されないボイコットと見なされます。米国のボイコット禁止法は、そのようなボイコットおよび協力要請を固く禁止するとともに厳格な報告義務を課しています。これに関する米国の法律や規制は米国外にあるモンサント関連会社や米国外の活動にも適用されます。私たちはこのボイコット禁止法を遵守し、その報告規定に従います。

貿易・経済制裁

米国は対外政策の目的達成のために経済制裁や禁輸措置を取ることがあります。これは、米国の個人または会社、また時には米国外の関連会社や個人が、ある国、組織、または個人と貿易、投資、金融取引をすることを制限し、監視することにより実行されます。この内容に関わる米国法規は米国外にあるモンサント関連会社にも適用され、その中には米国外にある関連会社と米国外にある他の事業体との取引も含まれます。

モンサント社員は適用されるすべての貿易制裁法律に従います。

グローバルな事業環境 (つづき)

輸出入

モンサント社の国際的な販売・調達事業において輸出入は日常業務です。モンサント社は、当社製品の国際輸送を規制するすべての米国の法、および該当する外国の法律や規制を遵守します。米国をはじめとするすべての国々(またはEUのような諸国連合)では輸入商品の通関手続きが義務付けられています。モンサントは適用されるすべての関税法を遵守し、当社が輸出または輸入する製品に関する正確で真実の情報を税関当局に提出します。

適正な通貨取引

現在100カ国以上の国々で不正資金浄化(マネーロンダリング)を禁止する法律が制定されています。非合法的活動から得た資金を、合法的活動を通すことによりそれに関与した犯罪活動、テロ活動、薬物流通、脱税などを隠蔽することを「ロンダリング(洗濯)」、すなわち不正資金の浄化と言います。モンサント社は適用される世界中の不正資金浄化禁止法を厳守します。

当社を危険にさらす可能性のある関係については、それを察知して回避しないと、モンサント社の信用と名声に大きな傷をつけることがあります。モンサント社は合法的な事業を展開する高名な取引先(特に顧客)に限定して取引を行います。非合法的な源泉または活動から生じた資金を、それを承知の上で受領することはありません。

一般的な質問と回答

この規範において私にはどんな責任がありますか？

私たちは一人一人が、モンサント社員として自分に設定した高い倫理基準を実践し、企業倫理に基づいてすべての行動を取る責任を負っています。モンサント社員は全員が適用法令、会社方針、企業行動規範を遵守し、規範に違反しているように見えるすべての状況を企業行動管理室に報告します。

当社では社員の高い倫理観を信頼しており、利害関係の衝突を解決するための支援体制が整っています。ただし、規範に違反した社員は解雇も含む懲戒処分の対象となります。また、規範の違反が疑われる問題の調査については全社員の協力が要求されます。

モンサント社では、モンサント企業行動規範に違反する疑惑のある事態をモンサント経営陣、法務部、あるいは企業行動管理室に正直かつ善意で内部告発する社員に対する報復措置を取らないことを方針としています。本規範により内部告発する社員に報復する管理職は、解雇も辞さない懲戒処分の対象となります。また、故意に虚偽の内部告発をした社員もまた解雇も辞さない懲戒処分の対象となります。

この規範において管理職にはどんな責任がありますか？

モンサント社の管理職職員は正しい企業行動の模範を示さねばなりません。すなわち、社員が自分にはどんな倫理的行動を取らなければならないかを理解し、その行動に関する疑問や疑惑がある場合、報復を恐れることなく報告できる職場環境を作りそれを維持することが管理職の責任です。モンサント社のあらゆるレベルの管理職は、規範違反の兆候を見逃すことのないようたゆまぬ努力をしなければなりません。

一般的な質問と回答 (つづき)

また、規範に反するかのように見える事態への対処にも、それと同等な努力の適用を要します。そして最終的に管理職は、告発された規範違反やその嫌疑がある事態を企業行動管理室に報告する重要な責務を担っています。

疑問点または不明な点についての問合せ先：

企業行動管理室はいつでもあなたを支援できる体制を整えています。

モンサント・ガイダンス・ホットライン：	877•781•2431
企業行動管理室の電話番号：	800•886•0782
電子メール：	business.conduct @ monsanto.com
郵便物送付先：	Monsanto Business Conduct Program P.O. Box 21526 St. Louis, MO 63132, USA
ウェブベースの企業行動フィードバック用紙：	企業行動プログラムのホームページ

むすびの言葉

この企業行動規範を制定するにあたり、モンサント社では業務遂行のあらゆる側面において企業倫理を優先し、すべての法令・規制を遵守し、本規範に規定される倫理基準を守ることを再確認しています。本規範が本当に有効な価値を持つためには、当社の社員一人一人が自分自身の信念としてそれを実行することが重要です。当社の誓約とその誓約に不可欠な倫理価値をすべての活動において実践するよう最大の努力をしましょう。すべての活動において誓約とその倫理価値を実践するように最大の努力をするとともに、それらを私たちの日常業務活動に取り入れるための新しい方法を模索しましょう。

事業遂行において生じる問題や課題を早期発見し、協調性をもってそれに対処し、慎重に解決することにより、すべての適用法令を遵守し、当社の高い倫理基準を維持し、かつ当社の経営目標も達成しながら、これを解決できます。社員全員が一丸となって優れた企業環境の創造に努力しましょう。